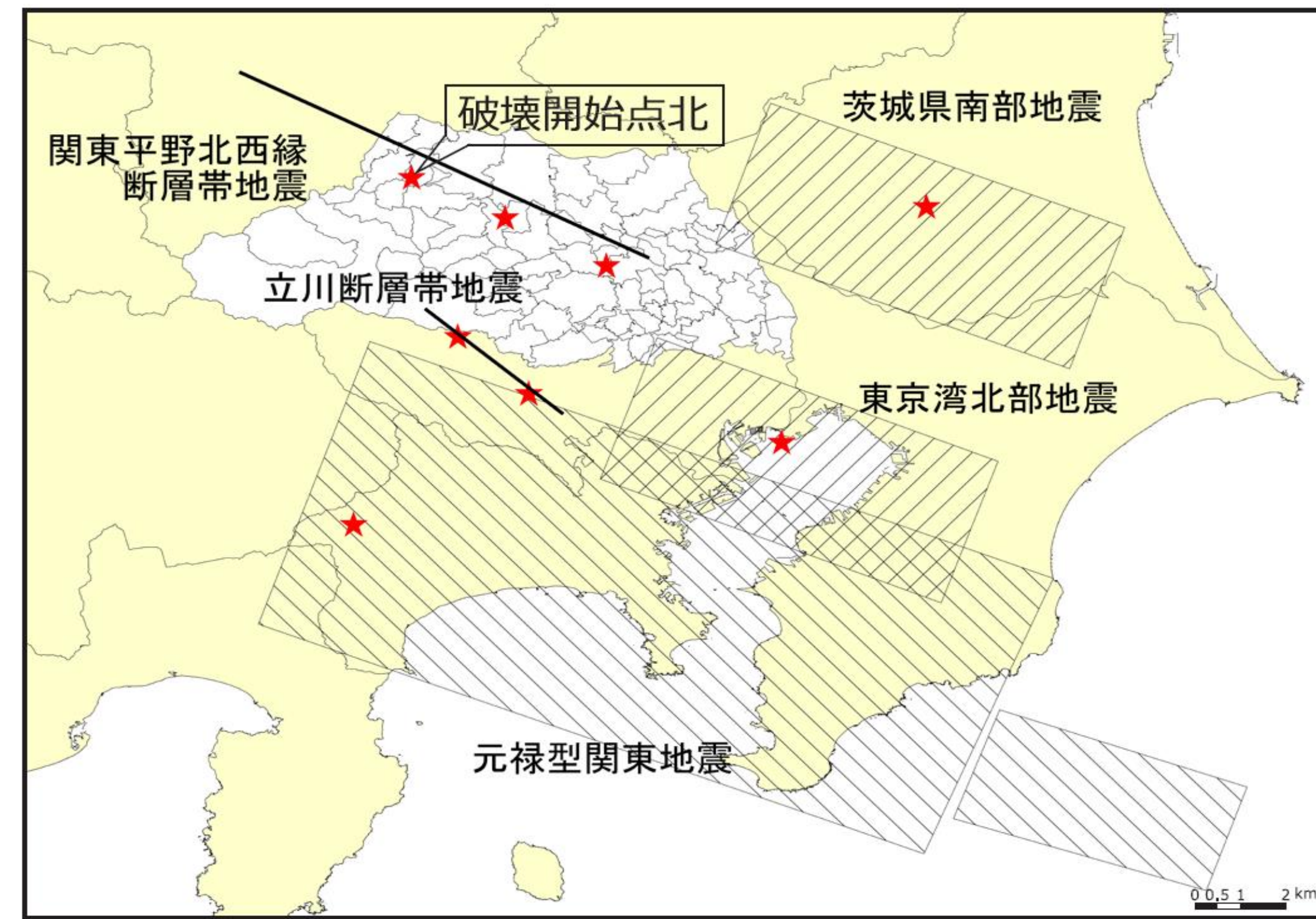


川島町の地震想定

埼玉県は、平成24・25年度に「埼玉県地震被害想定調査」を行いました。この調査で川島町に最大の被害をもたらすと想定される地震は、「関東平野北西縁断層帯地震(破壊開始点北)」となっています。発生確率は低いですが、この地震による想定震度は、震度7です。

東京湾北部地震や茨城県南部地震は、今後30年以内の発生確率は70%です。

埼玉県で想定される地震	マグニチュード	破壊開始点	川島町の最大震度	今後30年以内の発生確率
海溝型地震 東京湾北部地震 (フィリピン海プレート上面)	M7.3		5強	70%
海溝型地震 茨城県南部地震 (フィリピン海プレート上面)	M7.3		5強	70%
海溝型地震 元禄型関東地震 (相模トラフ沿いM8クラスの地震)	M8.2		5強	ほぼ0%
活断層型地震 関東平野北西縁断層帯地震 (深谷断層と綾瀬川断層を 一体の断層帯として想定)	M8.1	北	7	0.008% 以下
		中央	7	
		南	7	
		立川断層帯地震	M7.4	



※破壊開始点とは：地震は、断層面の破壊の進行によって発生します。その破壊が最初に始まる地点を破壊開始点といいます。

関東平野北西縁断層帯地震による川島町の被害想定

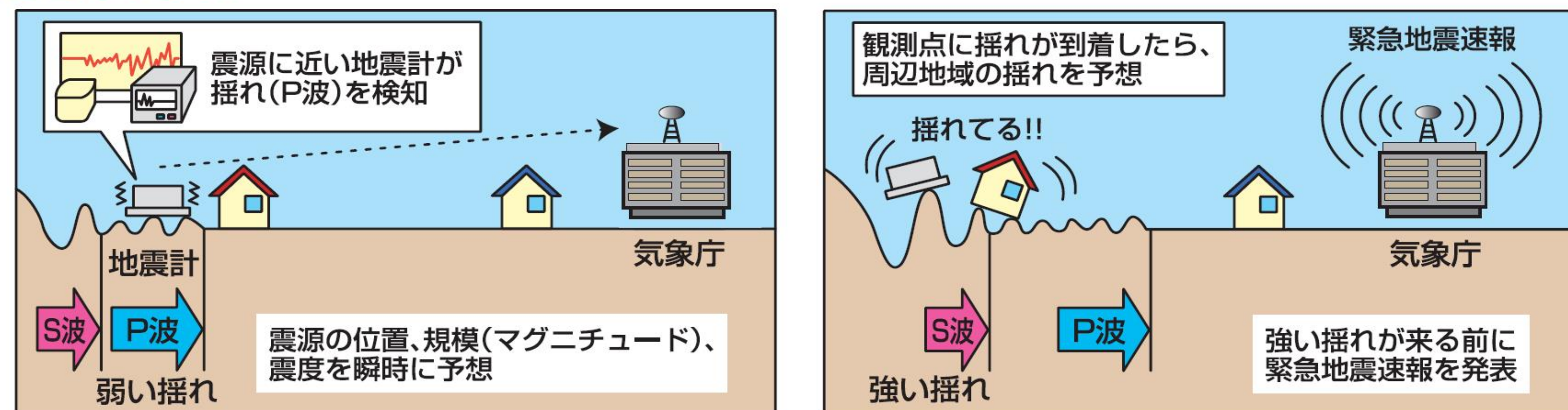
液状化の可能性	「やや高い」地域が町域の36%、「高い」地域が町域の48%	人的被害	死者数180人、負傷者数748人 (冬5時：大多数の人が在宅し、住宅による死傷者が最も多くなるケース)
建物被害	全壊棟数 2,988 棟 半壊棟数 2,256 棟		
火災焼失	焼失棟数74棟 (冬の18時・風速8m/s：火気の使用が一年中で最も多く、火災の被害が最も多くなるケース)	避難所避難者	避難所避難者数3,355人 (1週間後避難所避難者数：避難所の避難者数が最も多くなる時期)

緊急地震速報

緊急地震速報とは

緊急地震速報は、地震の発生直後に、地震発生場所に近い地震計で地震波（P波、初期微動）をとらえ、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる前に素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前、自らの身を守るなど避難に役立ててください。

緊急地震速報のしくみ



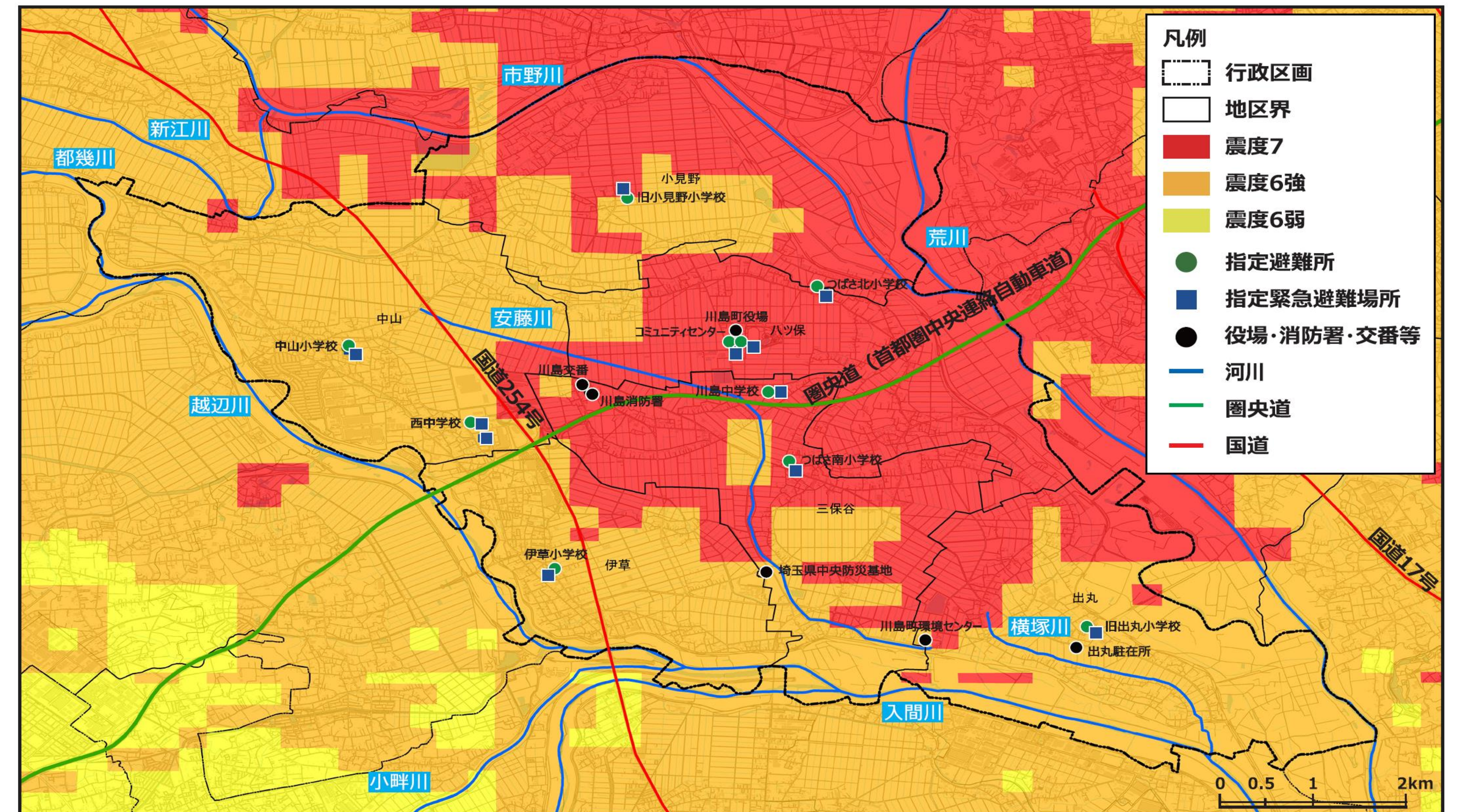
緊急地震速報の入手方法

- テレビやラジオによる放送
準備の出来た放送局から順次、テレビ・ラジオにて緊急地震速報を放送します。
- 戸別受信機・防災行政無線による放送
町は、戸別受信機・防災行政無線により報知音とともに放送します。(震度5弱以上)
- 携帯電話による受信
携帯電話各社により、携帯電話への緊急地震速報の配信が行われます。



震度マップ

● 川島町は、約半分の地域が「震度7」の想定です。



出典：「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査 被害分布画像データ」(埼玉県)

震度とは

震度とは、地震の揺れの強さを表す数値のことです。気象庁が発表する震度は、気象庁、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所が全国各地に設置した震度観測点で観測しています。震度は10階級からなります。

震度0 人は揺れを感じない。	震度1 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	震度2 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	震度3 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
震度4 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。	震度5弱 ● 大半の人が恐怖を覚え物につかまらなさと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度5強 ● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で落ちるものが多い。 ● 補強されていないブロック塀が倒れることがある。	
震度6弱 ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	震度6強 ● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ● 耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが多い。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。	震度7 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。	